

## 県連フリー登山バス（7月29日～8月2日）

雷鳥発見隊に参加して

参加者 CL宮木(一) SL西本 村田 江本 原田

7/29 広島⇒白馬駅近くの民宿あさひや（泊）

7/30 民宿あさひや⇒猿倉～白馬尻～大雪溪～村営頂上宿舎（泊）

7/31 村営頂上宿舎～白馬岳頂上～三国境～小蓮華山～白馬大池～白馬大池山荘（泊）

8/1 白馬大池山荘～白馬乗鞍岳～榎池自然園～榎池高原⇒松本市内（交流会）⇒

8/2 ⇒広島（早朝着）

### 感想

1日の歩行時間も短く楽な行程であった。白馬岳は大雪溪やたくさんの高山植物で私たちが迎えてくれるが、しかしさすがは3000m近いアルプスの高峰である。「なめたらいかんぜよー」という感じを強くした。2日目大雪溪を途中まで登ったとき、あいにくとガスっていて前後左右の視界はとても悪かったが上方よりゴロ、ゴロという音・「落石！！」と誰かが叫ぶ。上方が見えないのでとても不安だ。突如径1mもあろうかという大岩が転がりながら出現、私たちの前方（50mぐらい）を急に向きを変えて左後方へと落ちていった。「落

石！！」と大声で何度も叫び続ける。肝を冷やすとはこのことか。背筋がゾーとした。その後も姿は見なかったが落石の音を聞く。3日目、私たちは若木さんより「雷鳥発見隊」というパーティ名を与えられていたがその雷鳥になかなか出会えなかった。自然保護パトロールの方に聞くと曇っているときはよく出現するので今日は大いに期待できますとのこと。そしてついに白馬大池に近づいたとき雷鳥に遭遇。前方を砂あびをしたり、なにかつつきながらゆっくりと歩いていく。私たちが後ろをくっついて歩き何枚も写真を撮ることが出来た。コマクサ、

キヌガサ草、クルマユリ、チングルマ、ハクサンイチゲなどなどのたくさんのお花は勿論のこと十分に堪能したし、今回の目的は達したものと満足した。西本さんには終始先頭を歩いてもらいペースをうまくとっていただき感謝している。

（記 宮木一民）

